みんなのひろば

みんな仲良し 楽しい学校

児童会長としてがんばる

石神　幸誠（こうせい）さん（居小5年　日出）

10月から後期児童会長として、明るく楽しい学校をめざして活動しています。

学校の授業では、運動が好きなので体育が得意です。今年の運動会では、リレーのアンカーを務めたことが思い出に残っています。

1年生からスケート少年団、3年生から野球少年団に所属し、どちらも練習をがんばっています。

みんなを楽しませることが好きなので、将来は落語家になることが夢です。

俳句　訓子府俳句会

初句会マスクの下に笑顔有り
弥　生　梶田　倶子

初茜浮き立て松のシルエット
栄　町　堰代ヤヨイ

徒長枝（とちょうえだ）凍れし朝も凛と立つ
東幸町　吉野　良華

爆発な流行コロナ去年今年
西　富　吉村ツヤ子

心では慌てふためく年用意
西幸町　長江　建夫

手を叩け東京五輪の年始め
埼玉県　飯田　政章

庭仕舞一輪のこる冬薔薇よ
旭　町　相原　陽子

人いきいき

この町で開業を決意　長く続く菓子店に

カガミ菓子店（大町）

昨年11月17日、大町にオープンした「カガミ菓子店」。オープンから約1か月経過し、町内外から約1，000人の方がケーキやシュークリーム、クッキーなどを買い求めています。加賀美慎也さん、直美さん夫妻は「『町のお菓子屋さん』として日常の中にある店になることをめざしたい」と話していました。

「函館の菓子店で約10年、妻は約20年働いていましたが、一昨年、妻の両親が体調不良となったことがきっかけで、北見に引っ越してきました。仕事をしながら菓子店を開業しようと考えていたところ、仕事で知り合った訓子府在住の方から、町に菓子店がないことなどを聞き、町の視察を通してこの商店街で菓子店を開きたいと思い、開業を決意しました」（慎也さん）

「コロナ禍で準備を始め、開業できなかったときの不安などはありましたが、菓子店を待ち望んでいた町民の方から『この町に来てくれてありがとう』と言ってもらえて、とてもうれしかったです。子どもと過ごす時間を大切にし、また、この町で長く続けていくためにも自分たちのペースでゆっくり歩んでいけたらと思っています」（慎也さん）

「忙しいときには町民の方が体の心配をしてくれて、訓子府の温かさを感じました。『どこに持って行っても恥ずかしくなく、おいしい菓子』と思ってもらえるように店とともに成長していきたいです」（直美さん）

「店が落ち着いたら、季節を感じられるような菓子作りや包装紙の工夫などをしてみたいと思っています。また、訓子府の食材を使った商品を増やしていきたいですね」（慎也さん）

短歌　訓子府短歌会

わが町のコロナ感染二十人
哀れなるかな終る目途なし
埼玉県　飯田　政章

開拓に入りし頃の番外地
ここら辺りか炭焼き小屋は
東幸町　中島　玲子

夫と吾の昼食なれば湯気の立つ
南瓜（かぼちゃ）の塩煮と鯡（にしん）の切漬
東幸町　吉野　良華

晩秋の夜空を彩（いろど）る五百発
我が町百年祝いの花火
旭　町　瀬谷　隆夫

GoToで人は列島旅をなし
コロナばらまき国はあわてぬ
日　出　山内スミエ

民謡の最高師範の髙橋さん
文化功労賞に輝やく
大　谷　昆野　範雄